

家庭と園で共に取り組む  
個別の保育・指導計画

# 個別の保育・指導計画をつくる

- 子どもの**発達上の困難**を解決する
- 子ども本人や保護者の願いを保育の力で支えていく

## 支援計画

支援機関との連携  
長期的な支援

## 指導計画

保護者や保育者がどの  
ように関わり、支援する  
のかを具体的に記述する

あらゆる課題の中から  
本当に重要な目標を記す



**支援の羅針盤**

# 本人・保護者の願いをもとに 個別の保育・指導計画を作成する

## (1) 保護者のねがいを話す

- ・子どもがどのように成長してほしいのかを話し合う

## (2) これまでの支援の手立てを 基礎にして継続した支援を行う

- ・これまで家庭や園で行ってきた支援の手だてをもとに今後の支援計画を考える。
- ・支援の手だてを次年度へ引継ぎ、一貫した対応をする。

# 事例をもとに指導計画を立てる

## 【事例】 じっとしてられない4歳男児

保護者	保育者
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 「多動症ではないか」と担任に相談している。</li><li>・ 動き回ることで自分や周囲の子どもが怪我をすることを心配している。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 机やピアノの上に登るなどの危険行動があり、その都度、指導するが「なぜいけないのか」を理解することは難しく、同じことを繰り返す。</li><li>・ 指先を使った細かな操作が苦手である。</li></ul>



これらの行動の改善を意識した保育・指導計画を立てる

# 指導目標を考える

## 【例】

### 目標

- ・保育園でじっとしてられない時は、子どもにお手伝いを頼んで保育士と一緒に活動する。
- ・家では、空いた時間に過ごせる活動を見つけていく。
- ・やりたいと思う活動のなかで、手先を使う機会を増やす。

「がまんさせる」のではなく、よい行動を増やしていくことを中心にする。子どもにとって「無理のない」支援を考えて、継続して関わられるようにする。

意欲的に取り組むことを支援の中心にする

# あと一步で「できる」目標を積み重ねる



〇〇ができるよう  
になってほしい

子どもにとっては・・・  
すぐに実現できるものではない  
こともある

「長期目標」…いずれできるようになってほしい目標  
「短期目標」…「あと一步」で、できそうな目標

# 具体的な支援方法／手立てを考える

子どもへのかかわり方を具体的に考える



無理のない  
実行可能な支援

どの場面で

誰が

どのように  
支援するか

# 子どもが関係する機関と共有する

子どもの成長を  
社会全体で支える

子どもの支援に携わる  
関係機関と共有する





# 卒園後の継続した支援につなげる

個別の保育・指導計画があると…

幼児期にどのような支援を受けていたかがわかる



安心して楽しく活動できる環境を整える

新しい環境に早く適応できる



継続的に一貫した支援をすることで  
子どもの成長・発達につながる

## 【参考文献】

大石幸二監修、遠藤愛・太田研著（2018）『カンファレンスで深まる・作れる 配慮を要する子どものための個別の保育・指導計画』（学苑社）。

制作：新井英靖（茨城大学教育学部）

ナレーション：戸井田莉奈

このスライドは茨城大学大学院教育学研究科（特別支援科学コース）で作成した「個別の保育・指導計画の作成方法」を改訂したものです。